学校番号	４１１

平成 31 年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	異文化理解	2	2	精選 英文法・語法問題７００

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・異文化理解の授業では、文法事項の学習を中心に「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、トピックに応じた場面設定の中で話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。単に文を理解するだけでなく、英語のリズムやイントネーションを習得できるように練習するのが大切です。聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「英語超人ⅡA」（３単位）及び「英語超人ⅡB」（文系のみ）（２単位）

「異文化理解」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	異文化理解･出席状況／授業観察／小テスト／定期テスト	旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立った文章をいくつかの段落で書くことができる。 興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。	異文化理解・出席状況／授業観察／小テスト／定期テスト	日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。 ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	異文化理解・出席状況／授業観察／小テスト／定期テスト	小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	異文化理解･出席状況／授業観察／小テスト／定期テスト

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第1,2章 (6時間)	動詞の語法 ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、自分について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・時制・態を理解する。	・文法項目の確認。	・時制・態を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
第3・4章 (6時間)	時制・態、スピーキング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、興味・関心についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、自分について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、興味・関心についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞・仮定法を理解する。	・文法項目の確認。	・助動詞・仮定法を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・スピーキングテスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第５・６章 （ ６時間）	助動詞・仮定法、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、計画や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、計画について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、計画や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	（本単元では設定しない）	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞・動名詞を理解する。	・文法項目の確認。	・不定詞・動名詞を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
第７・８章 （ ６時間）	不定詞・動名詞、スピーキング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、原因や理由について、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、原因や理由について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、原因や理由についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	（本単元では設定しない）	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞・比較を理解する。	・文法項目の確認。	・分詞・比較を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第 9・10 章 (6時間)	分詞・動詞を含むイディオム、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、許可・依頼について聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、自分について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、許可・依頼について聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・代名詞・関係詞を理解する。	・文法項目の確認。	・代名詞・関係詞を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
第 11・12 章 (6時間)	形容詞の語法・副詞の語法、スピーチ指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、驚きや喜びについて聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、驚きや喜びについて伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、驚きや喜びについて聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・接続詞・前置詞を理解する。	・文法項目の確認。	・接続詞・前置詞を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・スピーキングテスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第 13・14 章 (6時間)	比較・形容詞、副詞を含むイディオム、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、感謝や謝罪の気持ちが聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、感謝や謝罪の気持ちを伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、感謝や謝罪の気持ちが聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・主語と動詞の一致・疑問文と語順を理解する。	・文法項目の確認。	・主語と動詞の一致・疑問文と語順を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
第 15・16 章 (6時間)	名詞と冠詞の語法・代名詞の語法、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、勧誘や申し出について聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、勧誘や申し出について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、勧誘や申し出について聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・否定、省略、強調・時制の一致と話法を理解する。	・文法項目の確認。	・否定、省略、強調・時制の一致と話法を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第 17・18・19 章 (6時間)	名詞を含むイディオム・関係詞の用法、スピーチ指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、賛成・反対の意思や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、賛成・反対の意思や考えなどについて伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、賛成・反対の意思や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の語法、形容詞、副詞の語法、名詞の語法を理解する。	・文法項目の確認。	・動詞の語法、形容詞副詞の語法、名詞の語法を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・スピーキングテスト
第 20・21・22・23・24 章 (6時間)	接続詞の用法・前置詞と群前置詞の用法、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、ものごとの文化的背景の説明を、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、ものごとの文化的背景の説明について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、ものごとの文化的背景の説明を、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・イディオムを理解する。	・文法項目の確認。	・イディオムを理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
第 25 章 (6時間)	主語と動詞の一致・疑問文と語順・否定、強調、省略、ライティング指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の意見や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、自分の意見や考えを伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、自分の意見や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・会話表現を理解する。	・文法項目の確認。	・会話表現を理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
第 26・27・28・29 章 (6時間)	時制の一致と話法、会話表現、スピーチ指導	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをワークシートにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語表現の能力」			
		・この単元で学んだ語句や表現を用いて、助言や提案を、聞き手に伝わるように話す。	・ペアで、メモに基づいて、助言や提案について伝え合う。	・この単元で学んだ語句や表現を用いて、助言や提案を、聞き手に伝わるように話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		・話し手の意図することを理解する。	・話しての意見のキーワードをメモする。	(本単元では設定しない)	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・単語・語彙・発音・アクセントを理解する。	・文法項目の確認。	・単語・語彙・発音・アクセントを理解することができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 ・スピーキングテスト